

第36回法人会全国大会三重大会経過報告

1. 開催日 令和元年10月3日(木)
2. 開催場所 三重県 津市産業・スポーツセンター
3. 主催 公益財団法人 全国法人会総連合
4. 主管 一般社団法人 三重県法人会連合会
5. 参加人数 412会 1,724名(内北海道170名)

第1部 記念講演会 14:00～15:00

演題「皇室と神宮」

講師 伊勢神宮 広報室広報課長 音羽 悟 氏

第2部 式典 15:20～16:40

- ①開会の辞 三重県連 宮崎会長
- ②国歌斉唱
- ③来賓紹介
- ④主催者挨拶(全法連 小林会長)
- ⑤来賓祝辞(星野国税庁長官、鈴木知事、前葉市長)
- ⑥表彰状贈呈
- ⑦税制改正提言の報告 飯野税制委員長
- ⑧青年部会による租税教育活動の報告
- ⑨大会宣言
- ⑩閉会の辞

第3部 懇親会 17:00～18:00

小林会長 主催者挨拶

大会宣言

われわれ法人会は、「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として、「税制改正に関する提言」や租税教育、企業の税務コンプライアンス向上に資する取組など、税を中心とする活動を積極的に展開しながら、広く社会へ貢献していくこととしている。

現在、わが国経済は、企業収益に陰りが見えるなど、景気の減速懸念がにわかに強まっている。大規模金融緩和の効果が期待できなくなった上、米中の経済摩擦によるマイナスの影響が顕在化してきたためである。一方、国際経済面では、アメリカの保護主義的政策がわが国をも対象とするなど予断を許さない状況となっている。

国家的課題である財政健全化は困難を極めており、わが国の長期債務残高は先進国の中で突出して悪化している。また、わが国は先進国で最速のスピードで少子高齢化が進み、かつ人口減少という深刻な構造問題も抱えている。社会保障の恒久化安定財源である消費税は、今般、税率が10%に引き上げられたが、今後の社会保障給付費の増大と財政健全化の困難さを考えれば、「受益」と「負担」の均衡に向けた議論を早急に開始することが重要である。

中小企業は、地域経済と雇用の担い手である。グローバル経済や厳しい環境変化に対応し、その存在感を維持するとともに、わが国経済の礎として、中小企業の力強い成長を促す税制の確立が不可欠である。

われわれ法人会は、「中小企業の活性化に資する税制」、「事業承継税制の更なる拡充」等を中心とする「税制改正に関する提言」の実現を強く求めるものである。

創設以来、納税意識の向上に努めてきた法人会は、令和という新しい時代を迎え、ここ三重のちで全国の会員企業の総意として、以上宣言する。

令和元年10月3日
全国法人会総連合全国大会